

6・17最高裁判決を乗り越えるために

だまっちゃおれん!原発事故人権侵害訴訟愛知・岐阜 弁護士 田巻紘子

1. 2022年6・17最高裁第二小法廷判決以後の原発事故被害者訴訟の最高裁への係属状況 (2024.11.20段階)

(1) いわき市民訴訟 2023.3.10仙台高裁判決

経産大臣による規制権限不行使を「極めて重大な義務違反であることは明らか」として違法性を認めたが、損害発生との相当因果関係を否定し、国賠請求は棄却した。

→最高裁第三小法廷係属

係属後、月1回の街宣、理由補充書提出を継続し、後続訴訟の最高裁係属を待っていた

→2024.4.10上告棄却、上告不受理決定

(2) だまっちゃおれん!原発事故人権侵害訴訟愛知・岐阜 2023.11.22名古屋高裁判決

→最高裁第一小法廷へ係属

(3) 千葉訴訟第二陣 2023.12.22東京高裁判決

→最高裁第一小法廷へ係属

(4) 東京訴訟 2023.12.26東京高裁判決 →理由書提出、記録未到達

(5) 山形訴訟 2024.1.17仙台高裁判決

→最高裁第一小法廷へ係属

(6) かながわ訴訟第一陣 2024.1.26東京高裁判決 → 理由書提出、記録未到達

(7) みやぎ訴訟 2024.3.18仙台高裁判決 → 理由書提出、記録未到達

(8) 新潟訴訟 2024.4.19東京高裁判決 → 上告・上告受理申立手続き

【現状】

6・17最裁後に言い渡された高裁判決は、一審段階で国の責任を認めていた事案(前述の(1)、(4)、(6))も含めて、6・17最高裁判決多数意見の筋立てに従い、いずれも国の責任を認めない判決となっている。

2. 2022年6月17日最高裁第二小法廷判決を変更させるために

【課題】

① 6・17最判に“確立した先例”の地位を与えない

→まず①のためには、6・17最判以後に言い渡される高裁判決が個別バラバラに別の小法廷へ係属することを防ぐ必要がある、現時点で判明しているだけで3訴訟が第一小法廷へ係属

(事務的な「負担」軽減のため一つの小法廷に集めているだけの可能性も否定できない)

② 法的にも実態面からも誤りである、6・17最判を最高裁に見直しさせる

→ ② のためには、大法廷へ回付されることが必要

cf. 裁判所法10条3号

「憲法その他の法令の解釈適用について、意見が前に最高裁判所のした裁判に反するとき」には小法廷において裁判をすることができない。

(最高裁係属事件訴訟団の当座の目標)

第一小法廷にて上告受理申立を受理させ、大法廷へ回付させること

(最高裁係属前の高裁段階、地裁段階の訴訟団)

6.17判決と異なる観点からの国賠違法に関する判断にて、国の責任を認める判決を得る

【最高裁係属事件訴訟団のここまでの動き】

上告理由書・上告受理申立理由書については、各訴訟にてそれぞれ作成・提出。

全弁連の弁護団会議での情報共有のほか、各訴訟の責任論担当者を中心に適宜、意見交換。

… 2024年3月22日、5月13日、6月7日、7月10日、8月8日、9月22日

(最高裁係属事件訴訟団)

どうしても、高裁判決までに積み上げてきた理屈、立証に、最高裁段階でも拘束される

cf. 最高裁は法律審であって、事実審ではない

だまっちゃおれん!原発事故人権侵害訴訟愛知・岐阜の場合

→ 2024.10.18 上告受理理由補充書提出

かながわ訴訟の場合

【大阪高裁判決の注目点】

先行4訴訟(6.17最判時)には十分打ち出されていなかった点で、京都訴訟が力を入れて推し出された論点について、大阪高裁がどう応答するか

3. 最高裁でのたたかい

■最高裁は、高裁までの審理と異なり、上告あるいは上告受理を容れて原判決を見直すことになった場合のみ、期日が開かれる… たたかい方が大変難しい

■物理的な“距離”

東京あるいは東京近辺でない訴訟団にとっては、最高裁は物理的にも遠い

期日も開かれず、行動も東京で、となるため地元支援者からは何をしているのかが見えにくい

■要請行動の位置付け

6.17最判は「原発事故による被害」を軽視しているのではないか。原発事故が再び起こっても致し方ない、“この程度の”被ばくは安全であるという考えが国賠違法否定の根底にあるように思われる。

そのため、被害論と一体的に責任に関する議論を進めることが必要である。

要請行動はその重要な機会の一つとなり得と考えている。

■脱原発 をめざす多様な市民との協働

10月18日の最高裁要請・街宣行動には、2024年6月17日に行動をともにした、最高裁共同行動実行委員会(16団体参加)の参加団体からもご参加をいただいた。

→ 被害の実態、救済の必要性、市民の世論で最高裁を動かす

—今後とも、どうぞよろしくお願いします。